

市議会だより

No.209

平成30年5月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



桜並木（足羽川堤防）



ふくい桜まつりオープニング（3月31日 ハピテラス）



桜のライトアップ（桜橋付近）



由利公正像
（幸橋南詰 由利公正広場）

3月 定例会

（2月19日～3月22日）

市長提出の議案60件、
報告3件を審議しました

↓ 主な議案は2ページ

↓ 審議結果は10～11ページ

委員会審査

↓ 3ページ

議員21人が一般質問を
行いました

↓ 詳細は4～9ページ

予算特別委員会

↓ 9ページ

↑ ふくい桜まつり

本市に春の訪れを告げる春まつりが、今年から「ふくい桜まつり」に名称を改め、3月31日から4月15日まで開催されました。

期間中には、市内各地の桜の名所でライトアップが行われ、訪れた多くの花見客の目を楽しませていました。

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10～11ページに掲載しています。

平成30年度当初予算

国の平成30年度当初予算は、経済再生と財政健全化を両立する予算として、地方財政に平成29年度と同水準の62兆1,000億円の一財源総額を確保する内容となっております。

本市の当初予算は、第七次福井市総合計画に掲げる将来都市像「みんなが輝く全国に誇れるふくい」の実現や、「福

井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の成功に向け、施策の着実な推進を図ることを基本としています。

また、中核市への移行や北陸新幹線福井開業を見据えて、観光・産業・まちづくりなど、さまざまに取り組みの成果をさらに伸ばす一方、行財政改革を進め、これまで以上に無駄を省いた予算として編成したものです。

(各会計予算は左記の表参照)

平成30年度 会計別予算総括表

(単位:千円)

会計区分	予算額
一般会計	105,290,000
国民健康保険	23,092,000
国民健康保険診療所	3,200
後期高齢者医療	3,567,000
介護保険	24,608,000
競輪	12,931,000
簡易水道	419,000
宅地造成	3,058,000
中央卸売市場	770,000
駐車場	134,000
集落排水	851,800
地域生活排水	192,000
福井駅周辺整備	719,000
下水事業	18,250,000
ガス事業	3,618,000
水道事業	7,700,000
合計	205,203,000

【予算のポイントとなる事業】

- ① 快適に暮らすまち
 - ・足羽山魅力向上事業
 - ・北陸新幹線建設整備事業
 - ・まちなか公共空間活用事業
 - ・未来につながるふくい魅える化プロジェクト
- ② 住みよいまち
 - ・地域の魅力発信事業
 - ・学童保育利用支援事業
 - ・障がい者用防災グッズ作成事業
- ③ 活き活きと働くまち
 - ・保健所設置事業
 - ・防災拠点機能向上事業
 - ・未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト
 - ・水産物ブランド化推進事業
 - ・マーケット開発支援事業
 - ・五感に響く体験・交流型観光推進事業
- ④ 学び成長するまち
 - ・順化小学校・順化公民館複合化事業
 - ・教員業務支援事業
 - ・国体開催事業

平成29年度補正予算

今回の補正予算は、小学校の校舎や体育館の安全を確保する「外壁落下防止対策事業」、女性が働きやすい職場環境整備に取り組む企業を支援する「輝く女性の未来予想図事業」、

平成29年の台風第21号により被災した林道、市道の復旧を行う「林道施設災害復旧事業」、「道路災害復旧事業」、地方バス路線等の継続的な運行を支援するため、運行維持経費の助成を行う「地方バス路線等運行維持事業」などに取り組むとともに、大雪により不足する除雪経費を支出するため、一般会計で45億7,854万5,000円を増額するなど、補正後の予算額は全会計で2,198億8,903万2,000円となります。

条例

○福井市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等を定める条例の制定について

県から指定居宅支援事業者の指定等の権限が移譲されるため、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等を整備するものです。

○福井市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

福井市福鉄ベル前駅自転車駐車場の新設に伴うものです。

○福井市社会福祉施設設置条例の一部改正について

福井市東部保育園及び幼保連携型認定こども園へ移行する福井市東藤島保育園を廃園し、福井市森田栄保育園古市分園を新設するとともに、入所定員について別に定めることとするものです。

○福井市空き家等の適正管理に関する条例の一部改正について

空き家等対策を推進するため、福井市空き家等対策協議会を設置するものです。

○福井市水道給水条例の一部改正について

○福井市公共下水道条例の一部改正について

水道料金及び下水道使用料を改定するものです。

人事案件

○固定資産評価審査委員会委員

平成30年3月31日をもって任期満了となる委員の後任として、田中昭美氏を選任することに同意しました。



委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。
(日程順に掲載)

総務委員会

《中核市の指定に係る申出》

問 市保健所は、県の福井健康福祉センターの施設を利用することだが、費用はどのように負担していくか。

答 今後の修繕費等の経費を検討した結果、県に借料を支払って借り受けることとした。また、改修費用は、県と市の行政機能が混在せず、市民にわかりやすい施設とするための改修であることから、市が負担し、維持経費は、使用面積に応じて負担していく。

問 《ふるさとテレワーク推進交付金》

問 どのような事業を行うための交付金か。

答 「未来につながる ふくい 魅える化プロジェクト」のひとつとして、都市圏の企

業の人が時間や場所にとらわれない働き方をすることにより、新しい人の流れをつくることを目的として、越廼地区の遊休施設を活用し、サテライトオフィスを開設する事業を行うためのものである。

建設委員会

《福井市空き家等の適正管理に関する条例の一部改正》

問 福井市空き家等対策計画において、空き家等に関する総合相談窓口は住宅政策課の所管となっているが、全体としての体制や住民への周知についてはどう考えているのか。

答 相談内容によってそれぞれ法律に基づいた対応が必要となるため、関係所属と連携して対応していく。また、福井市空き家等対策計画は平成29年度末に公表する予

定であり、窓口体制についても周知していきたい。

要望 窓口一本化によって住民サービスの向上を図るとともに、住民が混乱しないように十分に周知してほしい。

《地方バス路線等運行維持事業》

問 バス事業者による路線バスの再編にあたり、市や地元の見解を聞くための話し合いの場が持たれているのか。

答 路線バスの再編計画の話があった場合、地域交通の確保と利用者の利便性向上を最優先に考えてバス事業者と協議し、バス事業者とともに地元説明を行っている。今後も地元住民、バス事業者、市が三者一体となり、地域交通をよりよくしていきたい。

経済企業委員会

《財産の無償貸付け（福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）用地）》

問 土地を無償で貸し付ける理由は。

答 福井市観光振興計画において、一乗谷朝倉氏遺跡を別格の観光地と位置づけており、遺跡の魅力向上により観光誘客を図ることは本市の政策でもあることから、無償にすることで県の博物館整備に協力していきたい。

《平成30年度福井市ガス事業会計予算》

問 ガス事業の民営化にあたり、債務を除いた売却や上下分離方式を考えているのか。

答 ガス事業に関わる資産のすべてを売却する。

教育民生委員会

問 福井市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正

問 今後、さらに介護業界の人材が不足することが見込まれるが、対策を検討しているのか。

答 現在策定中の「すまいるオアシスプラン2018」

では、介護業界のイメージアップを図るため、小・中学生を対象とした講座の開催や、SNSなどによる若者向けの情報発信、県と連携した処遇改善の取り組みなどを行うほか、介護ロボットの導入支援を行い、介護職員の負担を軽減していくこととしている。

《保育費》

問 認定こども園への移行状況と今後の計画は。

答 平成27年に策定した子ども・子育て支援事業計画に沿って認定こども園への移行を推進し、現在、公立4園、私立43園が認定こども園となっている。平成31年度末には、公立、私立合わせて68園が認定こども園になる予定である。人口が多く希望する園への入所が難しい地区もあるため、次期計画の策定にあわせて、全体的な保育施設のあり方を検討していく。



一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、2月26日から28日までの3日間、21人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

(敬称略)

<p>① 池上 優徳 (一真会)</p> <p>1 平成30年度当初予算案について 2 大雪への対応について</p>	<p>② 水島 秀晃 (志政会)</p> <p>1 この度の大雪への対応と今後の対策について</p>	<p>③ 吉田 琴一 (市民クラブ)</p> <p>1 2018年の大雪に関する除雪等の対応について 2 所有者不明になった農地の対策について</p>
<p>④ 菅生 敬一 (公明党)</p> <p>1 雪害への対応について 2 福井市文化会館について 3 安全・安心な学校施設の整備について</p>	<p>⑤ 田中 義乃 (一真会)</p> <p>1 企業支援について 2 市街地再開発事業について 3 除雪体制について</p>	<p>⑥ 後藤 裕幸 (志政会)</p> <p>1 第七次福井市総合計画について 2 福井市立図書館について 3 福井しあわせ元気国体開催について 4 入札制度について</p>
<p>⑦ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <p>1 友好都市水原市へ派遣されるジュニア大使の有事における安全確保について 2 北の庄通りにおけるごみ収集方法と観光客目線での美観について 3 福井市における農福連携の実績とその成果及びこれからの新商品開発サポートについて</p>	<p>⑧ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</p> <p>1 介護保険事業と介護労働者について 2 雪害対策について 3 ガス事業民営化(事業譲渡)について 4 市税等の滞納者への対応について</p>	<p>⑨ 皆川 信正 (一真会)</p> <p>1 大雪への対応・対策について 2 ガス事業の民営化について 3 手話言語条例の制定について</p>
<p>⑩ 加藤 貞信 (志政会)</p> <p>1 平成30年度当初予算について 2 本市の今後の農業のあり方について</p>	<p>⑪ 玉村 正人 (市民クラブ)</p> <p>1 教職員の働き方改革について 2 福井市道路除雪計画について</p>	<p>⑫ 福野 大輔 (一真会)</p> <p>1 除雪対応について 2 足羽中学校の校庭整備事業について</p>
<p>⑬ 島川 由美子 (公明党)</p> <p>1 平成30年の豪雪における本市の対応について 2 福井市立図書館リニューアル事業基本構想について 3 終活について 4 産婦健康診査について</p>	<p>⑭ 瀧波 滋 (志政会)</p> <p>1 本市の防犯カメラの設置及び運用について 2 すまいるオアシスプラン2018について</p>	<p>⑮ 近藤 實 (無所属(青空の会))</p> <p>1 公共下水道条例の改正について 2 水道給水条例の改正について 3 平成29年度一般会計補正予算の財源について 4 第七次福井市総合計画の健全財政計画の進捗について 5 東京での婚活・U・Iターンについて 6 未来づくり推進局について 7 災害対策基金条例の改正について</p>
<p>⑯ 青木 幹雄 (志政会)</p> <p>1 平成30年度当初予算「全国に誇れる笑顔あふれる『ふくい』の実現に向けて」について</p>	<p>⑰ 泉 和弥 (一真会)</p> <p>1 地方バス路線等運行維持事業について 2 公園緑地管理費について 3 老人保健福祉、介護保険事業について 4 処遇改善加算について 5 ごみ処理施設整備事業について 6 福井市道路除雪計画における自治会等協力除雪路線について</p>	<p>⑱ 八田 一以 (一真会)</p> <p>1 福井東部広域農道の除雪について 2 福井市中央卸売市場について</p>
<p>⑲ 西村 公子 (日本共産党議員団)</p> <p>1 2018年度予算編成に関する市長の見解について 2 中核市移行について 3 貧困と格差を是正するための取り組みについて</p>	<p>⑳ 今村 辰和 (一真会)</p> <p>1 当初予算案の概要について 2 主要地方道武生美山線ののり面崩壊に伴う対応について</p>	<p>㉑ 見谷 喜代三 (一真会)</p> <p>1 大雪による農業被害に対する支援について</p>

一般質問要旨



いけがみ まさのり

池上 優徳 議員

一真会

平成30年度当初予算について

質問

平成30年度当初予算は「国体・障スポの成功と未来を見据え全国に誇れる笑顔あふれる『ふくい』の実現に向けて」堅実に歩み続ける予算と銘打っているが、どのような考えのもとに編成し、どこに力点を置いたのか。

回答

予算の編成にあたっては、国体・障スポの成功に万全を期すことや、中核市移行に向け準備を整えることに力を注ぐこととしている。

さらに、北陸新幹線福井開業の準備を進めるとともに、まちの魅力を高めるために必要な施策を展開していく。予算の規模は前年度に比べ縮小しているが、「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」の実現に向け、堅実に歩みを進めていくための予算として編成した。



みずしま ひであき

水島 秀晃 議員

志政会

この度の大雪への対応と今後の対策について

質問

今回の大雪では、国や県、他自治体、外部団体などどのような要請を行ったのか。また、災害対策本部は県とどのように連携し、この災害に対応したのか。

回答

市民生活の早期再建に向け、国土交通省、長野県、嶺南振興局に幹線道路の除雪を要請した。また、福井地区建設業会には生活道路などの路線確保、福井県石油業協同組合には除雪車への優先的な給油と燃料の確保を要請した。さらに、陸上自衛隊に災害派遣を要請し、雪捨て場の設置、運営を行うっていただいた。

県との連携については、除雪状況や交通規制などの情報を共有し、除雪作業の効率化を図った。また、一般除雪路線の圧雪除去や除排雪のため、長野県や嶺南からの応援隊の投入を県に要請した。



よしだ きんいち

吉田 琴一 議員

市民クラブ

2018年の大雪に関する除雪等の対応について

質問

今回の大雪での一斉除雪の出動回数と除排雪作業の経費の総額はどれくらいか。また、積雪の状況に応じて、除雪の応援体制をとるべきと考えるが、見解は。

回答

今後、公園を雪捨て場として位置づけ、段差の解消やフェンスの改良を行うべきではないか。

質問

今回の大雪では21回の一斉除雪を行い、約30億円の経費を見込んでいます。除雪の応援体制については、今後除雪業者の担当エリアや協力体制などの見直しを行っていく。

また、今回、雪捨て場として開放した公園は、本来雪捨て場としての機能を有していないが、今回のような大雪の場合には今後開放していく。段差やフェンスについては、可能な限り改修を行っていく。



すごう けいいち

菅生 敬一 議員

公明党

福井市文化会館について

質問

フェニックス・プラザは大型のコンベンションを視野に運用し、文化会館は舞台芸術に重点を置くとの方針が示された。現在の文化会館、フェニックス・プラザ大ホールの稼働率はそれぞれ44%、38%であるが、どこまで利用増を期待できるのか。

また、稼働率アップのための具体的なプランは。

回答

文化会館は、席数や楽屋等の機能を充実することにより大規模の興行などを新たに呼び込むことが可能になるほか、練習室を整備するなど、より多くの市民に足を運んでもらえる施設とすることで稼働率を向上させていく。

また、フェニックス・プラザは、利用料金や施設機能の見直しのほか、大規模なコンベンションの誘致に取り組む。



たなか よしのり

田中 義乃 議員

一真会

市街地再開発事業について

質問

現在、福井駅周辺で計画されている再開発事業と組み合わせて、古くなった建物を有効活用して魅力的な店舗の出店を図るリノベーション事業は、独立開業、創業、ベンチャーに繋がる大変有効な手段であり、建物の老朽化対策にもつながる。もっと支援に力を入れるべきと思うが、今後の方針は。

回答

リノベーションによる地域の活性化をさらに進めるため、平成29年度から中央1丁目、3丁目において、リノベーションにより地域に貢献する出店者に対し、支援を行っている。

今後、引き続きリノベーション物件への出店者に対し支援するとともに、平成30年度からは新たに福井でリノベーションに関わる人たちのネットワークによる取り組みを支援していく。



ごとう ひろゆき
後藤 裕幸 議員
志政会

福井市立図書館について

質問

福井市立図書館は、40年余りが経過したことによりリニューアルに向けた基本計画策定の説明があった。館内の2階は雨漏り、車庫の出入り口のタイルははがれ落ち、ブロック塀は倒壊の恐れがあるため建て替えると思っていたが、市の見解は。

回答

現在の立地場所が文教地区であることに加え、地域と連携することにより、まちづくりの拠点としても期待できる。一方、近隣の代替地の確保が困難であるため、現在地において大規模改修をすることとなった。建物や設備等の老朽化が著しいため、単なる修繕にとどまらず、不足している収納スペースの確保や駐車場の増設を含め、根本的に施設及び設備のリニューアルを進める予定である。



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹 議員
市民クラブ

友好都市水原市に派遣されるジュニア大使の有事における安全確保について

質問

友好都市である韓国水原市に派遣されるジュニア大使の有事における安全確保については、ありとあらゆることを想定し、ありとあらゆる対策を用意しなければならないと考える。危機管理は、想定力が結果を大きく左右するものであり、現在どのようなことを想定し、どのような安全策を講じているのか。

回答

今回の派遣では、以前水原市に研修派遣した本市職員も同行するほか、引率者全員が在外公館からの緊急一斉通報等入手できるようにし、在韓国日本大使館や避難場所の位置等の把握を行っている。また、緊急事態発生時には、情報を確実に収集し、大使館の安全マニュアルに基づき行動できるよう準備している。



すずき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党議員団

地域防災計画における雪害対策の内容を充実せよ

質問

福井市地域防災計画では、雪害対策は一般災害対策編の一部門に過ぎず、内容も5ページ足らずで一般的な対応の記述のみである。今回の豪雪災害を検証し、内容を充実させるべきと考えるが、市の考えは。

回答

雪害対策の検証については、市民への情報発信、災害対応の体制、道路機能の確保など、いくつかの視点から記録を分析し、各部署における課題を整理して解決に向けた方策の検討を行い、本市の雪害に対する体制の見直しを図る。

福井市地域防災計画については、今回の大雪で明らかになった課題等を整理・検討し、冬期における市民の安全安心な生活を確保するため、見直しを図る。



みながわ のぶまさ
皆川 信正 議員
一真会

手話言語条例の制定について

質問

手話を広める知事の会が、手話言語法制定を国会要望する中、福井県議会でも2月定例会で議員提案により手話言語条例の制定が決定する予定である。団体・障スポを秋に控え、また、中核市を目指し、連携中核都市圏構想を標榜する福井市として、条例制定をどう考えているのか。

回答

本市では、手話がコミュニケーションや情報収集の手段として大変重要なものと認識しており、さまざまな普及啓発に取り組んでいる。

今後、市民や事業者の協力のもと、手話の普及啓発等を総合的かつ計画的に進めていくためには、条例制定も有効な手段の一つと考えており、関係団体の意見を十分に聞きながら検討していく。



かとう さだのぶ
加藤 貞信 議員
志政会

ふるさと納税について

質問

今年の大雪被害においても「ふるさと納税」を活用して寄附を募っているが、これまでの実績は。また、地区を指定したふるさと納税による寄附があった地区数と総額は。

さらに、今後はどのような方策を講じていくのか。

回答

ふるさと納税の実績は、今年2月現在、市直接受け入れ分で1,421件、4,623万円、このうち雪害復旧支援に対する寄附は、603件、約935万円である。また、地区を指定したふるさと納税では、昨年12月現在、35地区に対し、約613万円の寄附をいただいている。

今後は、本市の魅力のPRを強化するとともに、返礼品についても、季節ごとの特産品や、市内企業と連携したふるさと納税限定品の開発を検討するなど充実を図る。



たまむら まさと
玉村 正人 議員
市民クラブ

平成30年度の小学校における週授業時間数はどうなる？

質問

新学習指導要領では、外国語活動の充実を図るため、小学校3年生以上で授業時間数が増えることになるが、4月から始まる先行実施での授業時間数増に対する本市の考え方はどうか。

回答

英語の教科化を受けて授業時間数は1コマ（1時限分）増えることになるが、本市では総合的な学習の時間70時間のうち15時間を、また、委員会やクラブなどの時間の一部を英語の時間に振り替えて授業時間を確保することで、1週間の単位時間数が増えないようにする。



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
一真会

大雪の際の公共交通機関について

質問

今回の大雪により、えちぜん鉄道、福井鉄道それぞれが長期間運休することになった。速やかに運行を再開することが、雪国の公共交通機関としてとても重要なことだが、今後どのような改善を考えているのか。

回答

運行再開に時間を要したことについては、鉄道区間、路面軌道区間の排雪が必要であったことに加え、鉄道事業者として、運行の安全確保を図るための点検作業に多くの時間を費やす必要があったためと考えられる。今回の大雪を教訓として、今後、関係機関と十分協議し、鉄道の安全で安心した運行に活かしていく。



しまかわ ゆみこ
島川 由美子 議員
公明党

産婦健康診査について

質問

産後うつ予防や、新生児への虐待予防等を図る観点から、産後2週間、産後1か月など、出産後間もない時期の産婦に対する母体の身体的機能の回復や、授乳状況の把握等の健康診査の実施についての考えは。

回答

本市では、妊娠届出時に行う妊婦との面接相談やアンケート、医療機関や関係所屬等との連携により、支援が必要な妊婦及び新生児を把握し、妊娠中及び産後間もない時期から助産師や保健師による訪問を行い、授乳指導や心身のケア、育児のサポートなど、きめ細かく支援している。産婦健康診査事業は、産後うつ等の早期発見などに有効と考えられるため、今後検討していく。



たきなみ しげる
瀧波 滋 議員
志政会

防犯カメラの設置・運用について

質問

大阪市では犯罪を防止し、安全で安心して暮らせるまちの実現につながるよう、防犯カメラの設置及び運用に関するガイドラインを策定しているが、本市の取り組みは。

回答

本市では不審者の侵入を防ぐため、小・中学校等の敷地内を監視する防犯カメラや、犯罪抑止を目的に商店街、福井駅西口広場など、不特定多数の人が利用する場所を撮影する防犯カメラが設置されているが、設置や運用に関するガイドラインは定めていない。本市での犯罪発生件数は15年連続で減少しているが、さらなる安全・安心なまちづくりに向け、ガイドライン作成について、今後、警察と連携を密にし、課題を整理し、協議していく。



こんどう みのる
近藤 寛 議員
無所属（青空の会）

公共下水道条例の改正について

質問

下水道使用料が平成31年度から20%の値上げとなり、市民に大きな負担を強いることになる。私の見通しでは、経常利益が平成31年度は13億1,400万円、平成32年度は12億4,700万円、平成33年度は11億9,900万円になる。これだけ莫大な経常利益が必要か。

回答

現在、一定程度の経常利益は確保できているが、人口減少などによる使用料収入の減少などにより、今後減少が見込まれる。また、下水道事業会計では、建設投資に係る収支等からなる資本的収支の不足分については経常利益を充当しているが、今後急激に不足額が増加し、経常利益を充当しても将来的に賄いきれない状態になると見込んでいる。



あおき みきお

青木 幹雄 議員

志政会

中核市移行について

質問

本市は平成31年4月に中核市移行を目指しているが、市民の中核市に対する理解促進のため、市長から今一度メッセージをいただきたい。

回答

平成31年4月の中核市への移行を新たなスタートとして捉え、拡大する事務権限を創意と工夫により最大限活かし、全国でも高く評価されている「住みやすいまち」や「子育て環境の充実」など、本市が持つ強みや個性をさらに伸ばしていく。

また、市民がそれを実感し、市民自らがふくいの魅力として自慢できるようなまちづくりを進めることにより、「全国に誇れる 笑顔あふれる ふくい」の実現を目指していく。



いずみ かずや

泉 和弥 議員

一真会

福井市道路除雪計画における自治会等協力除雪路線について

質問

道路幅が狭い生活道路では、住民の高齢化が進み、今回の大雪に限らず住民による除雪が難しい箇所がある。自治会等協力除雪路線については、自治会や地域団体への作業の安全教育・講習の実施や、小型除雪機の貸与、購入補助制度創設を検討してはどうか。

回答

自治会等協力路線は、道路幅員が狭く標準的な除雪機が入らないので、自治会に除雪をお願いしている。しかし、高齢者が多く、機械の手配も難しく、作業に限界がある路線も存在する。小型除雪機の使用は作業効率を高めるが、操作には危険を伴う。安全対策や除雪機の冬期間の保管場所の確保等の課題について、購入補助や貸し出しを含めて検討していく。



はった いちい

八田 一以 議員

一真会

福井市中央卸売市場について

質問

福井市中央卸売市場を取り巻く環境は極めて厳しい。福井市中央卸売市場中長期プランの改訂版が公開されているが、市場の将来像がよく分らない。福井市中央卸売市場が特色ある、独自性ある中央市場として存続していくために、市はどのような戦略的施策を打つのか。

回答

福井市中央卸売市場については、開設者と国の指導監督下にあることから高い信用力があり、広域的な集荷力を見込めること、また、多品目の生鮮食品等を安定的に市民に供給できることから、中央卸売市場として維持していく必要があると考えている。現在、卸売市場法の改正が予定されていることから、必要に応じて前倒しして新プランの策定を行う。



にしむら きみこ

西村 公子 議員

日本共産党議員団

上下水道料金、介護保険料、後期高齢者医療保険料の値上げ撤回を要求

質問

上下水道料金の2割値上げにより市全体では年15億円を超える大幅な負担増だが、市民生活や経営への影響を考えているのか。値上げ抑制の取り組みと撤回の考えは。

回答

介護保険料の年平均2,400円、後期高齢者医療保険料の年平均4,000円の値上げ抑制のため、不要不急の事業を削減して予算を振り向けるべきではないか。

上下水道料金改定により市民生活などへの影響はありと考えているが、安定的かつ持続的なサービス提供のためにやむを得ず値上げをお願いするものである。市として国の補助制度を活用するなど、事業費の財源確保に努めている。

当初予算案に計上している事業はいずれも本市の発展、市民生活の向上のために必要不可欠な事業と考えている。



いむら しんかず

今村 辰和 議員

一真会

主要地方道武生美山線ののり面崩壊に伴う対応について

質問

昨年12月29日に蔵作町の主要地方道武生美山線において大規模な土砂崩れが発生したが、これに伴う道路復旧計画の概要及び工事スケジュールを市としてどのように把握しているのか。

回答

県に確認したところ、現在、現場付近の測量やボーリングによる土質調査を行っており、復旧には時間を要するとのことである。緊急迂回通路の市道横越楢谷線は、大型車が通行できないため、その代替として、足羽川への仮設橋の整備を1月4日から着手しており、3月末の供用開始を目指している。



みたに きよぞう
見谷 喜代三 議員
一真会

**大雪による農業被害に
対する支援について**

質 問

今回の大雪により大量の雪が用水路に積まれており、この状態で通水すると浸水被害が発生するため、現在は通水を止めていると聞いている。このままでは通水が遅れ、春の育苗など田植えの準備に支障をきたすことになるが、春作業の用水路通水に向けた対応について、市はどう考えているのか。

回 答

田植え準備に向けた通水確保の対応として、まずは水路内の雪を溶かす必要があるため、関係土地改良区とも連携し、浸水被害が起きないように注視しながら、計画的に用水を流していく。しかし、氷のように硬い雪によってせき止められている箇所については、局部的排雪を行うなど、田植え作業の準備に支障がないよう対応する。

予算特別委員会

各党派における
主な質疑内容を
紹介します。

一真会

堀江 廣海 谷本 忠士
田中 義乃 八田 一以
福野 大輔

○今回の大雪の対応

問 災害対策本部は的確に機能したと考えているのか。

答 2月6日に災害対策本部を設置して以降、本部長の指揮のもと、除雪状況や被害状況などの情報共有や重要事項の協議を行い、道路除雪や救命救助等の迅速かつ的確な災害対応に努めたが、状況報告だけでなく、それらを踏まえた対応の協議なども求められると考える。今後は、この反省点を踏まえ、災害対策本部の体制についても検討していく。

意見 災害対策本部は、当初から現場で道路状況の把握を行い、市民生活に支障が出ている事柄については早急に県や国

に必要な要請を行うなど、的確に機能する組織であるべきだ。

志政会

青木 幹雄 野嶋 祐記
後藤 裕幸 水島 秀晃
瀧波 滋

○えちぜん鉄道の高架化

問 えちぜん鉄道の福井駅はどのような駅になるのか。

答 東西を全面ガラス張りとした開放感のある明るい駅舎となり、内装に温かみや親しみのある県産杉材を使用する。ホームは1面2線となり、エレベーター1基、上りエスカレーター1基を設け、待合機能やインフォメーション機能、京福バスチケットセンターなどの整備が予定されており、乗り継ぎや観光などにおいても利用者にとって利便性の高い駅となる。

市民クラブ

吉田 琴一 堀川 秀樹
村田 耕一

○本市の子ども行政

問 国が進める幼児教育無償化により将来保育需要等の増加が考えられるが、老朽化が進む本市の公立保育園等の施設整備を今後どのように進めていくのか。

答 耐震性の劣る公立保育園の耐震補強工事を平成27年度に完了し、その後は認定こども園の移行に合わせた大規模改修を計画的に実施している。老朽化が進む公立保育園等の施設についても、計画的に実施していく。

公明党

菅生 敬一

○危機管理体制の強化

問 防災拠点機能向上事業の内容及びメリットは。

答 市庁舎を防災拠点として使用できるよう、非常用発電設備を整備し、免震化された別館に防災拠点機能を移転す

る事業である。これにより、外部からの電源供給がなくても3日間は無償で業務が継続できるとともに、災害対策本部と危機管理室を耐震性能が向上した別館に配置することで、密接な連携や速やかな災害への対応が可能となるメリットがある。

日本共産党議員団

西村 公子

○国民健康保険税

問 平成30年度からの国民健康保険事業の単位数に伴う税率の改定により、全体としては保険税の引き下げになるとのことだが、引き上げとなる被保険者はいないのか。

答 改定後の税率は現行税率に比べ、所得割及び資産割については引き下げ、均等割及び平等割については据え置いていることから、課税対象となる所得額や世帯構成などが変化した場合を除き、保険税が引き上げとなる世帯はない。



(3月定例会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は1頁に掲載)
		議決日	結果	
第1号議案	平成30年度福井市一般会計予算	3月22日	原案可決	●
第2号議案	平成30年度福井市国民健康保険特別会計予算	〃	〃	●
第3号議案	平成30年度福井市国民健康保険診療所特別会計予算	〃	〃	●
第4号議案	平成30年度福井市後期高齢者医療特別会計予算	〃	〃	●
第5号議案	平成30年度福井市介護保険特別会計予算	〃	〃	●
第6号議案	平成30年度福井市競輪特別会計予算	〃	〃	●
第7号議案	平成30年度福井市簡易水道特別会計予算	〃	〃	●
第8号議案	平成30年度福井市宅地造成特別会計予算	〃	〃	●
第9号議案	平成30年度福井市中央卸売市場特別会計予算	〃	〃	●
第10号議案	平成30年度福井市駐車場特別会計予算	〃	〃	●
第11号議案	平成30年度福井市集落排水特別会計予算	〃	〃	●
第12号議案	平成30年度福井市地域生活排水特別会計予算	〃	〃	●
第13号議案	平成30年度福井市福井駅周辺整備特別会計予算	〃	〃	●
第14号議案	平成30年度福井市下水道事業会計予算	〃	〃	●
第15号議案	平成30年度福井市ガス事業会計予算	〃	〃	●
第16号議案	平成30年度福井市水道事業会計予算	〃	〃	●
第17号議案	福井市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	〃	〃	●
第18号議案	福井市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等を定める条例の制定について	〃	〃	●
第19号議案	福井市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第20号議案	フェニックス・プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第21号議案	福井市手数料徴収条例の一部改正について	〃	〃	●
第22号議案	福井市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備、運営等に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃	●
第23号議案	福井市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備、運営等及び指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃	●
第24号議案	福井市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃	〃	●
第25号議案	福井市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	〃	〃	●
第26号議案	福井市児童館条例の一部改正について	〃	〃	●
第27号議案	福井市社会福祉施設設置条例の一部改正について	〃	〃	●
第28号議案	福井市認定こども園設置条例の一部改正について	〃	〃	●
第29号議案	福井市国民健康保険基金条例の一部改正について	〃	〃	●
第30号議案	福井市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第31号議案	福井市介護保険条例の一部改正について	〃	〃	●
第32号議案	福井市SSTRANDの設置及び管理に関する条例及び福井市リズムの森の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第33号議案	福井市集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第34号議案	福井市都市公園条例の一部改正について	〃	〃	●
第35号議案	福井市空き家等の適正管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第36号議案	福井市手数料徴収条例及び福井市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第37号議案	福井市公共下水道条例の一部改正について	〃	〃	●
第38号議案	福井市特定地域生活排水処理施設条例の一部改正について	〃	〃	●
第39号議案	福井市消防手数料条例の一部改正について	〃	〃	●
第40号議案	福井市水道給水条例の一部改正について	〃	〃	●
第41号議案	福井市公民館設置に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第42号議案	福井市少年自然の家の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第43号議案	福井市監査委員に関する条例の一部改正について	〃	〃	●
第44号議案	財産の無償貸付けについて（福井鉄道福武線鉄道用地）	〃	〃	●
第45号議案	財産の無償貸付けについて（福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）用地）	〃	〃	●
第46号議案	福井県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の減少、同組合の規約の変更及び財産処分について	〃	〃	●
第47号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	〃	〃	●

議会日誌 (平成30年1～3月)

1月22日	議会運営委員会
25日	全国競輪主催地議会議長会役員会 (福岡県久留米市)
2月1日	全国広域連携市議会協議会正副会長・監事・相談役会議、第68回理事会、第49回総会 (東京都)
13日	議員全員協議会、議会運営委員会
14日	定例福井県市町総合事務組合議会
	福井県自治会館組合議会定例会
	福井県市町振興協会理事会
3月23日	福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会
28日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会、第171回定例会 (あわら市)

3月定例会

2月19日	本会議
20日	議会運営委員会
26日	本会議 (一般質問)
27日	本会議 (一般質問)
28日	本会議 (一般質問)
3月1日	総務委員会、建設委員会
5日	教育民生委員会、経済企業委員会
15日	予算特別委員会
16日	予算特別委員会
19日	議会運営委員会
22日	議員全員協議会、本会議

委員会活動報告

常任委員会で、県外の先進地を視察しましたので報告します。視察先等は次のとおりです。

委員会名	視察日程	視察先	調査事項
総務委員会	平成30年 1月29日(月)～30日(火)	神奈川県川崎市	働き方・仕事の進め方改革推進プログラムについて
		静岡県静岡市	しずおか中部連携中枢都市圏について

編集後記

3月定例会は、2月の豪雪災害の直後ということもあり、多くの議員が雪害対策への質問を行いました。歴史的豪雪で亡くなられた方や負傷された方へお悔やみとお見舞いを申し上げます。不眠不休で除雪にあられた業者さん、対策に奔走された市の職員、そして市民の皆さまの助け合いへの感謝を改めて感じた冬でした。雪解けも進み、春の息吹を感じながら、どの議員も市民の安全安心への思いを強くしています。今年も桜が咲きました。

(鈴木・菅生)

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

本会議

定員97人 うち車イス6席

常任委員会

総務・建設・教育民生・経済企業

議会運営委員会

特別委員会

議員全員協議会



お問い合わせ

議会事務局 庶務課

0776-20-5506

中継する会議

- ・本会議
- ・各常任委員会
- ・各特別委員会

インターネット
中継を実施
しています

福井市議会では、より多くの皆さまに議会活動をご理解いただくため、

YouTube(ユーチューブ)のインターネットストリーミングサービスを利用した録画放送の配信を行っています。

傍聴に来られない人も、会議の映像をご覧ください。

※インターネット中継は、福井市議会ホームページからご覧いただけます。なお、この中継は、福井市議会の公式記録ではありません。



次回は
6月定例会
です

日程は
ホームページに
掲載します